

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年6月25日

【事業年度】 第54期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

【会社名】 株式会社新川

【英訳名】 SHINKAWA LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 西 村 浩

【本店の所在の場所】 東京都武蔵村山市伊奈平二丁目51番地の1

【電話番号】 042(560)1231 (代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部長 森 琢 也

【最寄りの連絡場所】 東京都武蔵村山市伊奈平二丁目51番地の1

【電話番号】 042(560)1231 (代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部長 森 琢 也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年6月28日に提出した第54期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）有価証券報告書の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものです。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

（1）連結財務諸表

注記事項

（税効果会計関係）

2 財務諸表等

（1）財務諸表

損益計算書

製造原価明細書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しています。

第一部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

（1）【連結財務諸表】

【注記事項】

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

（訂正前）

（省略）

（注） 前連結会計年度及び当連結会計年度における繰延税金資産の純額は、連結貸借対照表の以下の項目に含まれています。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
流動資産 - 繰延税金資産	27百万円	34百万円
固定資産 - 繰延税金資産	1,332	29
流動負債 - その他	—	1
固定負債 - 繰延税金負債	—	429

（訂正後）

（省略）

（注） 前連結会計年度及び当連結会計年度における繰延税金資産の純額は、連結貸借対照表の以下の項目に含まれています。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
流動資産 - 繰延税金資産	27百万円	34百万円
固定資産 - 繰延税金資産	1,332	29
流動負債 - 繰延税金負債	—	1
固定負債 - 繰延税金負債	—	429

2 【財務諸表等】

（1）【財務諸表】

【損益計算書】

【製造原価明細書】

（訂正前）

		前事業年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)			当事業年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)		
区分	注記 番号	金額(百万円)		構成比 (%)	金額(百万円)		構成比 (%)
原材料費	1		1,506	8.7		1,257	11.0
半製品費			12,960	75.2		7,686	67.0
労務費			1,751	10.2		1,733	15.1
経費							
1. 外注加工費	2	556			341		
2. 減価償却費		210			194		
3. その他		261	1,027	6.0	260	795	2.3
当期総製造費用			17,243	100.0		11,471	100.0
期首仕掛品たな卸高	2		1,072			1,231	
合計			18,315			12,702	
期末仕掛品たな卸高			1,231			1,660	
他勘定振替高			680			964	
当期製品製造原価			16,404			10,079	

原価計算の方法

原価計算の方法は、個別原価計算によっています。

(注)(省略)

(訂正後)

		前事業年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)			当事業年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)		
区分	注記 番号	金額(百万円)		構成比 (%)	金額(百万円)		構成比 (%)
原材料費	1		1,506	8.7		1,257	11.0
半製品費			12,960	75.2		7,686	67.0
労務費			1,751	10.2		1,733	15.1
経費							
1. 外注加工費	2	556			341		
2. 減価償却費		210			194		
3. その他		261	1,027	6.0	260	795	6.9
当期総製造費用			17,243	100.0		11,471	100.0
期首仕掛品たな卸高	2		1,072			1,231	
合計			18,315			12,702	
期末仕掛品たな卸高			1,231			1,660	
他勘定振替高			680			964	
当期製品製造原価			16,404			10,079	

原価計算の方法

原価計算の方法は、個別原価計算によっています。

(注)(省略)